

よなごしりつとしょかん
米子市立図書館

よなご

データブック

2023



よなごって、どんなまちかな？

おいしいもの、すてきなもの、

いっしょにさがしてみよーで！

よなごしりつとしょかん
米子市立図書館キャラクター

・ねんれい 333 さい

よなぽん

・とくぎ まんとうを1じかんもつことができる

・せいべつ なし

よなごし めんせき
●米子市の面積



とうぎょう
東京ドーム2823こ
くらいのひろさだよ！

へいほう
132.42平方キロメートル

よなごし じんこう ひと
●米子市の人口(すんでいる人のかず)

にん
145,420人

だんせい じょせい
(男性：69,372人 女性：76,048人)

れいわ ねん がつ にちじてん
令和5年6月30日時点



へいせい ねん
平成27年には、149,313人すんでいたよ
いまは ふえているかな？ へってるかな？

よなごし
●米子市のマーク



こめ じ
「米」というかん字をもとにデザインされています。

よなごし はな
●米子市の花



はな ねん
ツツジという花です。2006年にきまりました。毎年5

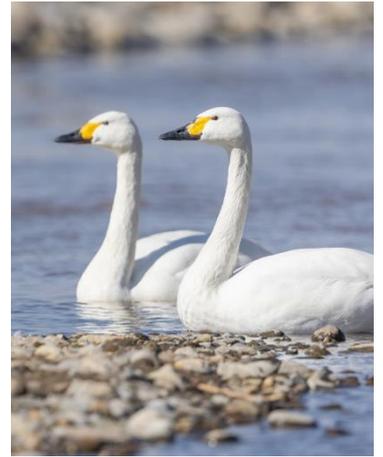
がつ よなごし ない はな
月になると、米子市内に たくさん 花がさきます。

●^{よなごし とり}米子市の鳥

^{よなごし とり}米子市の鳥は「コハクチョウ」です。

2006^{ねん}年にきまりました。^{よなごみずとりこうえん}米子水鳥公園に

は、^{まいとしふゆ}毎年冬になると、およそ1000わの
コハクチョウがやってきます。



●^{よなごし}米子市のキャラクター

^{よなごし}米子市のキャラクター「ヨネギーズ」



おとうさんの「^たネギ太」、おかあさんの「^こネギ子」、こども
の「ネギポ」、ポシェットのどんぐりは「^{かしわぎ}柏木さん」とい
います。かわいいですね！

●^{よなごし}米子市は、いつできたの？

いまの^{よなごし}米子市は、2005^{ねん}年（平成17^{ねん}年）3月31^{がつ}日に

^{よなごし}米子市と^{よどえちょう}淀江町が^{がっぺい}合併（ひとつになること）して^う生まれました。

最初に^{よなごし}米子市ができたのは昭和2^{しょうわ}年。村や町が^{むら まち がっぺい}合併をくり

かえしながら、いまの^{よなごし}米子市になりました。

●^{よなご}米子の^{ちめい}地名の^{ゆらい}由来は？

なぜ「^{よなご}米子」っていうのかな？いろいろな^い言い^{つた}伝えがあります。

・^か賀茂^{じんじや}神社のとなりにひっこしてきた^{ちやうじゃらうふ}長者夫婦が、^か賀茂^{じんじや}神社の^い井戸^{みず}水で^{きよ}からだを清め、^{こども}こどもがで
きますようにといのったら、^{はちじゅうはち}88さいのときに^{こめ}こどもをさずかりました。^し八十八は米という字に
ているから、^{こめ}米の子^ことかいて、このあたりの^{とち}土地を^{よなご}米子とよぶようになったそうです。



・このあたりは^{いね}稲がよく実り、「^{よなおう}米生の^{さと}里」とよばれていました。いつしかこれが「^{よなおうのこう}米生郷」とよ
ばれるようになり、「^{よなご}米子」になったそうです。



・「^{よな}よな」は^{すな}砂という意味。「^いなご」は^{たいら}平という意味。あわせて「^{よなご}米子」になったそうです。

^{よなご}米子という地名は、^{ちめい}よなこ、^よよねこなど、^よ読み方は^{かた}ちがうけど^{とっとりけん}鳥取県だけではなく、^{ほしよ}ほかの場所にも
あります。^{すなち}砂地の^{とち}土地につけられていることが多いことが、^{おお}最近の^{さいきん}研究^{けんきゆう}でわかってきています。



ほかにもまだあ〜で！
しらべてみると、おもしろいか
も！

参考文献

- ・米子市「人口と世帯数」<https://www.city.yonago.lg.jp/9498.htm>
- ・「よなごキッズページ」<https://www.city.yonago.lg.jp/16772.htm>
- ・『米子の民話散歩』（川上 廸彦 // 著 米子市 2002.8）
- ・『「米子」地名考』（岩佐 武彦 // 著 日本国際地図学会 1987）

よなごし とくさんひん

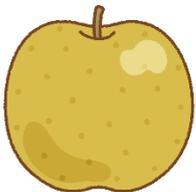
2.米子市の特産品

しろ ・白ねぎ



しろ 白ねぎは、めいじじだい すみやしむら ひこなむら きゅうひんはんとう
栽培され、売られるようになりました。このあたりは栄養たっぷりの
さいばい う
の砂地で、なかうみ かいそう ひりょう しろ そだ
ばしよ とっとりけん にしにほん ゆうめい さんち おお
場所でした。鳥取県は西日本でも有名なねぎの産地で、その多くは
よなご しゅつか
米子から出荷されています。

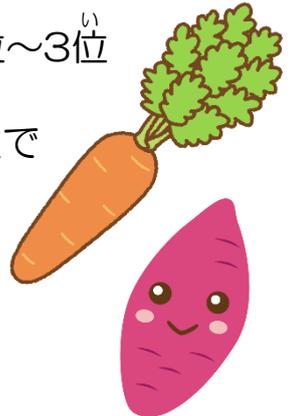
★よなごし しろ しゅうかくりょう (2020年)・・・とっとりけんない い ぜんこく い
米子市の白ねぎの収穫量 (2020年)・・・鳥取県内1位、全国2位～3位



ほかににもにんじん、は 葉たばこもとっとりけんない しゅうかくりょう い
す (2020年データより)。そのほかお米、こめ



なし、かきなどもつくられています。



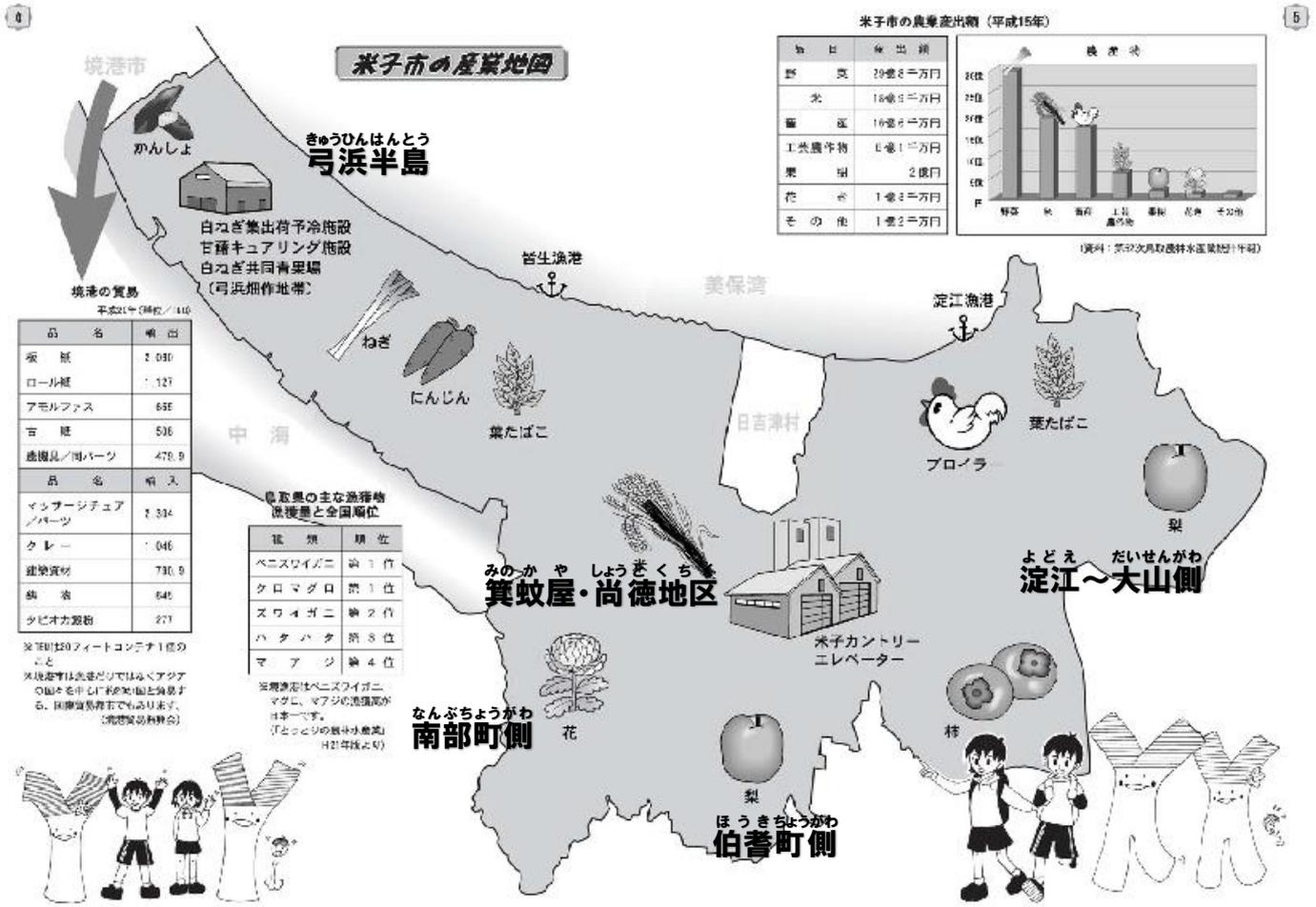
ねぎ、にんじん、さつまいも (かんしょ)、は 葉たばこは、おも きゅうひんはんとう
てます。よなご のまんなかあたりは、こめ お米がとっとりけんない いなさくちたい
は山がわで、くだものがつくられています。よなご みなみ

参考文献

- ・農林水産省「市町村の姿」<https://www.machimura.maff.go.jp/machi/contents/31/202/index.html>
- ・『鳥取県 白ねぎ沿革史』(鳥取県農業共同組合連合会 1997.09)
- ・『ウンパくんと歩く 中海散歩』(中海市長会 2012.03)
- ・「よなごキッズページ」<https://www.city.yonago.lg.jp/16772.htm>
- ・「ふるさと米子探検隊 13号」(米子市立図書館 2009.03)

よなごし さんぎょうちず 米子市の産業地図

よなごたんけんたい ぎょう
「ふるさと米子探検隊13号より」



よなごし さんぎょうちず りょうし
米子市ではむかしから漁業がさかんにおこなわれていましたが、さいきんは漁師
さんが高齢になったり、資源がへったりして、お魚がとれなくなってきています。

よなごし かいけぎょうちず よどえぎょうちず さきつぎょうちず
米子市には皆生漁港、淀江漁港、崎津漁港などがあります。

●米子市の漁獲量 (平成30年海面漁業生産統計調査)

- さくら類 139トン
- あじ類 121トン
- 貝類 74トン



ゆみはまかすり ・弓浜緋

ゆみはまかすり よなごし きゅうひんはんとう さかいみなとし ふる
弓浜緋は、米子市の弓浜半島から境港市にかけてつくられている古くからある
おりもの はくしゅうめん
織物です。伯州綿というじょうぶで、やさしいさわりごちの素材でつくられてい
ます。だいせん つる かめ えがら
ます。大山や鶴、亀など、めでたい絵柄がとくちょうです。

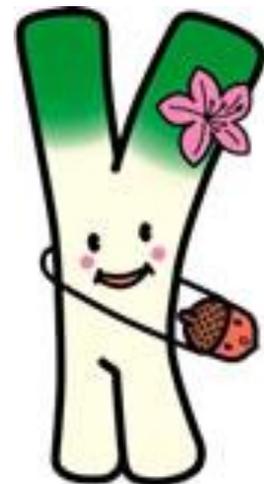
よどえがさ ・淀江傘

よどえがさ え どしだい くらよし しよくにん つく
淀江傘は、江戸時代に倉吉からきた職人によって作られた
のがはじまりといわれています。とてもじょうぶで、うつく
わがさ
しい和傘です。できあがった傘を砂浜に干す風景は、淀江の
ふうぶつし
風物詩だったそうです。せんご かさ た
戦後、傘が足りなくなると、淀江傘
いちねんかん まんぼん つく
は一年間に 50万本も作られたそうです。やがてみんなが洋傘をもつようになり、
よどえがさ つく
淀江傘はだんだん作られなくなりました。いまは「淀江傘伝承の会」のみなさんが、
よどえがさ でんとう まも つく
淀江傘の伝統を守って作っています。



参考文献

- 『ウンパくんと歩く中海散歩』（中海市長会 2012.03）
- ・「よなごキッズページ」<https://www.city.yonago.lg.jp/16772.htm>
- ・「ふるさと米子探検隊13号」（米子市立図書館 2009.03）



よなごし

3.米子市のここがすごい！

しぜん 自然



よなご だいせん ・米子からみえる大山

だいせん ちゅうごくちほう たか やま
大山は中国地方でいちばん高い山で、1729メー

ルあります。よなごしな いろいろな ばしょ から、うつくしい だいせん 大山をみることができま
す。かくどによって、さまざまなかたちにかわる だいせん 大山は、どのすがたもとてもうつく
しいです。みる ばしょ によっては、ふじさん のかたちになていることから、「伯耆富士」
とよばれています。



なかうみ ・中海

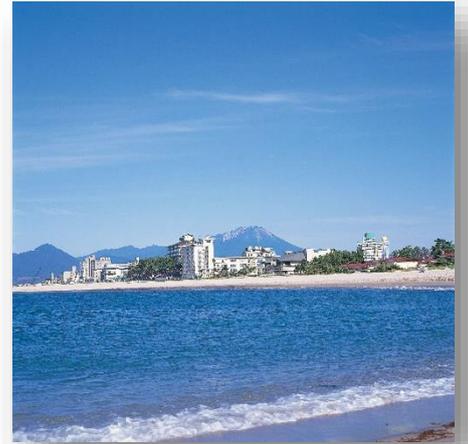
なかうみ とっとりけん しまねけん みずうみ にほん
中海は鳥取県と島根県にまたがる湖で、日本で5

ばんめ おお みずうみ きすいこ ばんめ おお
番目に大きな湖です。汽水湖としては2番目の大きさ

だそうです。すごいですね！汽水湖とは、かいすい たんすい みずうみ
海水と淡水がまざりあった湖のことで
す。うみ うみ つながっている なかうみ には、うみ みずうみ い
海とつながっている中海には、海と湖のりょうほうの生きものがすんでいま
す。そのほうふな生きものをえさに とり 鳥もたくさんやってきます。1995年(平成7年)
には よなごみずとりこうえん ができて、みずとり せいかつ ばんめ
コハクチョウやマガンなど水鳥の生活する場所をまも
っています。ねん へいせい ねん みずとり せいそくち こくさいてき じゅうよう しつ
2005年(平成17年)には、水鳥の生息地として、国際的に重要な湿
ちたい
地帯にみとめられ、ラムサール条約に登録されました。

かいけおんせん ・皆生温泉

およそ 100年まえに、漁師さんが海でみつけた温泉
です。塩をたっぷりふくんだ温泉は、体をぽかぽかあ
たためて、ひらの病気や神経痛などにも効果があるとさ
れています。夏になると海水浴場ができて、多くの人
でにぎわいます。海水浴場と温泉がいっしょに楽しむ
場所は、日本ではとてもめずらしいそうですよ！



みず ・おいしい水

大山がちかい米子市の淀江には、「天の真
名井」「本宮の泉」とよばれる、きれいな水が
わきでる場所があります。天の真名井には
水車があり、ニジマスがおよいでいます。とて
もうつくしい風景です。本宮の泉は1日に3
0000トンもの水がわきでるそうです。夏
はホタルをみることができます。



すいどうすい ・水道水もおいしい！

米子市の水道水は、大山や日野川のゆたかな自然に育まれた
地下水を水源としているため、ミネラルをふくんでいて、とてもおい
しいです。「全国おいしい水32選」に選ばれたことがあるほどです。水道をひねる
と、いつでもおいしい水がのめることは、とてもすばらしいことです。



おまつり

よなごさくら ・米子桜まつり



みなとやまこうえん
湊山公園にはおよそ450本の桜の木があります。春にな
ると屋台もたくさんでて、お花見の客でにぎわいます。

ひよしじんじゃ ・日吉神社よいとまかせ

よどえ
淀江にある日吉神社の、350年以上続く伝統あるおまつりです。「えんよいやな、
えんよいとまかせ、さささ、さーよいとまかせ」というかけ声をしながら歩くので、
「よいとまかせ」とよばれています。

ぜんにほん ・全日本トライアスロン皆生大会

すいえい
水泳（スイム）、じてんしゃ
自転車（バイク）、ランニング（ラン）

の3種目をするスポーツです。1981年（昭和56年）

に、皆生温泉で日本初のトライアスロンが開催されま

した。毎年7月に開催され、全国からたくさんの選手が

米子にやってきます。

よなご ・米子がいな祭

「がいな」とは、米子の方言で「おおきい」「たくさん」といういみ。

1974年（昭和49年）に第1回の米子がいな祭が開催されました。が

いな万灯やがいな太鼓など、たくさんの出し物がおこなわれる、とても

にぎやかなおまつりです。



かいけいかん
皆生海岸スイムスタートのよう
す！がんばれ～！



かもがわ ・加茂川まつり

よなごしない なが かもがわぞ じぞう
米子市内を流れる加茂川沿いには、たくさんのお地蔵さまがいます。このお地蔵さま
こ げんき かわ みず
に子どもたちが元気ですごすことができるように、川の水がきれいにな
ねん しょうわ ねん がつ
るようにおいのりするおまつりです。1984年（昭和59年）8月か
たの
らはじまりました。スタンプラリーやキャンドルナイトを楽しみます。



かいけ だいせん シー トゥー サミット ・皆生・大山SEA TO SUMMIT

かいけ うみ の じてんしゃ だいせん い だいせん とざん だいせん
皆生の海でカヤックに乗り、自転車をこいで大山へ行き、大山登山をして大山の
ちようじょう
頂上をめざすスポーツイベントです。スポーツをしながら、自然のゆたかさ、たい
せつさを学びます。日本で最初にSEA TO SUMMITがおこなわれたのは、2009年
がつ かいけ だいせんたいかい いま ぜんこくかくち
9月の皆生・大山大会だそうです。今では全国各地でおこなわ
れています。



参考文献

- ・『米子がいな祭 25 周年記念誌』（米子がいな祭振興会 1999. 4）
- ・『加茂川まつり 35 年のあゆみ』（加茂川まつり実行委員会 2019）
- ・『ウンパくんと歩く 中海散歩』（中海市長会 2012）
- ・「よなごキッズページ」 <https://www.city.yonago.lg.jp/16772.htm>

よなごし 米子市のすごいところに行ってみよう！

よなごじょうあと ・米子城跡

よなごし ちゅうしんち みなとやま たか やま よなご
米子市の中心地に、湊山という高さおよそ90メートルの山があります。米子の

ひと みなとやま しroyama した やま よなご
人たちは、湊山のことを「城山」とよび、親しんでいます。この山には、かつて「米子

じょう しroyama
城」とよばれる城がたっていました。いまは城はのこっていませんが、湊山の

ちようじょう しroyama いし ちようじょう
頂上には城をささえていた「石がき」がまだのこっています。頂上からはうつく

だいせん なかうみ ねん しょうがつ エヌエイチケー ばんぐみ
しい大山や中海をながめることができます。2022年のお正月には、NHKの番組

けしき にほんさいきょう しroyama よなごじょうあと ぜんこく ゆうめい
でそのうつくしい景色から「日本最強の城」にえらばれ、米子城跡は全国でも有名

ねん へいせい ねん ほんまる に まる くにしていしせき
になりました。2006年（平成18年）には、本丸、二の丸などが国指定史跡となり、

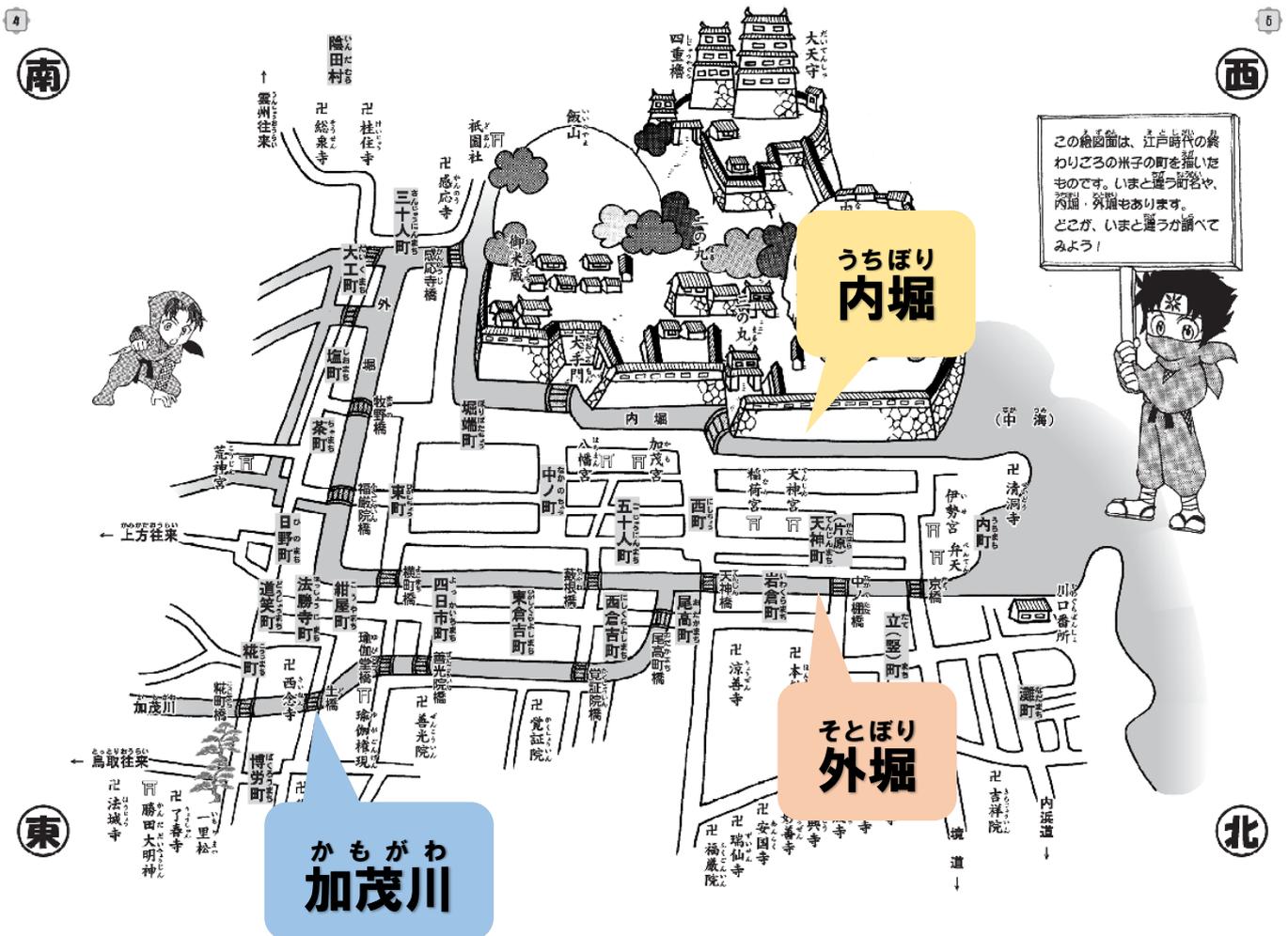
ねん れいわ ねん さん まる いちぶ みなとやまきゅうじょうあと くにしていしせき ついか
2021年（令和3年）には三の丸の一部（湊山球場跡）も国指定史跡に追加されま

した。



かもがわ ・加茂川のまわり

よなごじょうのまわりには、かつて城を守るために、内堀と外堀がつくられ、水がながれていました。米子のまちは商人のまちとして栄えていましたので、外堀は、商店のにもつをはこぶための水路としても利用されました。加茂川も、水路として利用されました。今では米子城も堀もなくなりましたが、灘町、岩倉町、尾高町、東倉吉町などのあたりには加茂川沿いに倉や石の階段がのこっていて、ふるい町並をみたり、遊覧船にのったりすることができます。また、加茂川のまわりにはたくさんの橋とお地蔵様があります。米子の観光名所のひとつです。



・『ふるさと米子探検隊第2号米子城入門の巻』(米子市立図書館/編刊 2005.2) より抜粋

むきぼんだいせき ・妻木晩田遺跡



よなごし だいせんちょう やよいじだい むら
米子市と大山町のあいだにある、弥生時代の村のあとです。

おお むら ぜんこく ゆうめい いせき
とても大きな村のあとで、全国でも有名な遺跡です。たてものあとや、

おはかがみつかっています。いまは公園になっていて、弥生時代の

せいかつ たいけん ふくげん てんじ み
生活を体験したり、復元されたたてものや展示を見たりすることができます。

ふくいちいせき ・福市遺跡

やよいじだい こふんじだい むら
弥生時代から古墳時代にかけての村のあとです。

たてものあとや、おはか、道具などがたくさん見つか
っています。



福市考古資料館

<http://www.yonagobunka.net/kouko/>より

かみよどはくほう おかてんじかん かみよどはいじあと ・上淀白鳳の丘展示館・上淀廃寺跡

よどえ ねん ふる てら
淀江に683年にたてられたとされる、古いお寺のあとです。

つち なか ほとけ ぶつぞう み
土の中から仏さまのかかれたかべや、仏像のかけらが見つ

かっている、全国で有名になりました。上淀白鳳の丘展示館で

は、上淀廃寺の仏像3体を復元したものを展示しています。ま

た、ちかくの天神垣神社の倉庫には、日本に2体しかないという貴重な石馬が保存

されています。ほかにも、まわりには古代伯耆の丘公園、向山古墳群というたくさ

んの古墳もあり、古代のロマンがあふれる場所です。

- ・『米子のふるさと散歩』（米子錦ライオンズクラブ/発行 2012）
- ・『市民が選んだ米子の宝88』（よなごの宝88選実行委員会/発行 2010）
- ・「よなごキッズページ」<https://www.city.yonago.lg.jp/16772.htm>
- ・『海を臨む天空の城 国指定史跡米子城跡』（米子市教育委員会/発行 2016）

よなご
米子には、まだがい
にことすごい場所が
があ〜で〜！



上淀白鳳の丘展示館

<http://www.yonagobunka.net/hakuhounooka/exhibition/facility/>
より

参考文献

- ・「よなごキッズページ」 <https://www.city.yonago.lg.jp/16772.htm>
- ・米子市 <https://www.city.yonago.lg.jp/>
- ・『米子の民話散歩』（川上 廸彦 // 著 米子市 2002.08）
- ・『「米子」地名考（抜刷）』（岩佐 武彦 // 著 日本国際地図学会 1987）
- ・農林水産省「市町村の姿」 <https://www.machimura.maff.go.jp/machi/contents/31/202/index.html>
- ・『鳥取県 白ねぎ沿革史』（鳥取県農業共同組合連合会 1997.09）
- ・『ウンパくんと歩く中海散歩』（中海市長会 2012.03）
- ・「ふるさと米子探検隊13号 米子の産業入門編の巻」（米子市立図書館/編刊 2009.03）
- ・『米子がいな祭 25周年記念誌』（米子がいな祭振興会 1999.04）
- ・『加茂川まつり 35年のあゆみ』（加茂川まつり実行委員会 2019）
- ・『米子のふるさと散歩』（米子錦ライオンズクラブ/発行 2012）
- ・『市民が選んだ米子の宝88 第3版』（よなごの宝88選実行委員会/発行 2012.03）
- ・『海を臨む天空の城 国指定史跡米子城跡』（米子市教育委員会 2016）
- ・「ふるさと米子探検隊19号 皆生温泉今とむかしの巻」（米子市立図書館/編刊 2017.3）
- ・「ふるさと米子探検隊2号 米子城入門の巻」（米子市立図書館/編刊 2005.2）
- ・一般財団法人米子市文化財団 <http://www.yonagobunka.net/>

米子市立図書館

よなごデータブック 2023

米子市立図書館／編刊

2023年7月 発行